

## 令和6年度事業計画について

元日に発生した令和6年能登半島地震。震災によって亡くなられたすべての方々の御冥福を心からお祈りします。また、被害に見舞われ、いまだ厳しい生活を送っておられる被災者の方々に、お見舞いを申し上げます。

第213回通常国会施政方針で岸田総理は「成果を実感する年に」として、賃上げと投資がけん引する「新しい資本主義」を実現し、日本を大きく動かすとしています。

また、「日本経済に染み付いたデフレから完全脱却し熱量溢れる新たな成長型経済に移行していくチャンス」として、このチャンスを掴み取り、絶対に後戻りさせないとしています。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、いまだ終息は見通せずいよいよ「ウィズコロナ」が日常となりつつあります。今年度も当センターは、コロナ禍と共存しながらの事業運営になるものと思われま

一方、今年度からインボイスの影響を通年受け、新たな負担の心配とフリーランス法に基づく包括契約へのスムーズな移行を考える必要があります。

人生100年時代と言われる中、「生涯現役社会の実現」に向けた取り組みが進められており、高齢者の能力を十分に発揮し、活躍できる環境整備を図ることが必要であり、シルバー人材センターの果たすべき役割はますます重要となっています。

このような状況の中、当センターの現状は、会員数の減少、契約金額の落ち込み、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した世界情勢の変化に起因した消費者物価の上昇、また、昨年10月からの「インボイス制度」による、新たな経費負担も生じるなど、大変厳しい経営状況となっております。

令和6年度は、更なる会員拡大、就業開拓、デジタル化推進による業務運営の効率化・簡素化による事務コストの削減、フリーランス法施行に伴う包括契約へのスムーズな移行を図り、地域社会の期待に応えられるセンターづくりを目指す所存です。

そこで、令和6年度の事業目標としては、前年度事業を継続実施することを基本として次のような重点項目を設定しました。

## 重点項目

### 1 就業機会の確保

会員の皆さんの希望に合致した就業の拡大がなかなか進んでおらず、その結果としてミスマッチの状況を引き起こしております。会員の皆さんが1人でも多く希望の職種に就業できるよう役職員一丸となって、就業機会の確保に努めるとともに、就業開拓推進員により就業先を開拓しますので、会員の皆さんも「一人一仕事開拓運動」にご協力をお願いします。

### 2 就業相談の実施

就業情報の提供は、事務所の広報板、ホームページ、携帯ショートメッセージ等を活用し、適宜就業情報が提供できるよう、鋭意努力を続けてまいります。また、スマートフォン等で常時就業情報が確認できるよう、昨年度から供用開始したスマイル・トゥ・スマイルの登録者を増やします。

### 3 各種講習会等の開催

会員の皆さんのスキルアップに資するとともに、今後、会員になられる方を含めた地域の方々にも参加していただけるような各種講習会を開催します。

### 4 安全・適正就業の実施

安全就業は、「安全は全てに優先する」との基本姿勢のもと、安全委員会が中心となって「安全就業のための安全対策」の推進に努めます。

適正就業は、就業ガイドラインを活用しながら、発注元との意思疎通を図っていきます。

令和6年度の安全目標を次のとおり設定します。

- |            |        |
|------------|--------|
| (1) 重篤災害件数 | 0件     |
| (2) 一般災害件数 | 5件以下   |
| (3) 休業日数   | 120日以下 |

(4) 物損事故件数 5件以下  
(草刈作業中の飛び石事故 0件)

## 5 会員拡大

シルバー事業の根幹をなす会員の拡大については、なかなか思いどおりに新規入会者が増加せず、退会者が予想以上に増加している現状があります。昨年度から開始したフレンドリーショップ(会員優待割引)制度を充実させるため協力店の拡大に努め、また新規親睦事業を企画実施し、当センターの魅力を高めるための環境整備も行います。

また、一昨年から開催しておりますハローワークとの連携による就業相談会や面接会などを本年度も引き続き開催いたします。ほかにも会員拡大委員会の中で検討をし、効果のある事業は推進していきますので、会員の皆さんも「一人一会員入会運動」にご協力をお願いします。

## 6 介護保険事業・新総合事業

ここ数年来のヘルパー会員の高齢化と減少がヘルパー事業の就労に大きく支障を来しております。これにより、事業高が減少となり、厳しい事業運営を強いられております。今後も、引き続きヘルパー会員の補充に努めるとともに、相生市地域包括支援センターとの連携と協力をお願いしながら利用者の拡充に努めてまいります。しかし事業運営の改善が図れず、サービスに支障を来すなど問題が生じた場合は、介護保険事業の在り方について、検討をいたします。

## 7 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)並びに職業紹介事業の継続

当該事業は、兵シ協が実施する、労働者派遣事業(シルバー派遣事業)並びに職業紹介事業の実施事務所として、高齢者の就業に適した臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、シルバー派遣事業並びに職業紹介事業を継続実施いたします。また、兵シ協と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として継続実施をします。

## 8 中長期計画の推進

後期5か年の目標数値設定から4年目となります。会員数など目標達成には厳しいものがありますが、中長期計画推進委員会において、種々検証を行い、今後の目標達成のための一助とし、安定的な事業運営に資したいと考えております。

## 9 中長期計画の策定

第1次中長期計画(10年計画)のうち9年目を迎え、中長期計画を推進するとともに第2次中長期計画の策定を目指します。

第2次中長期計画においては、当センターを取り巻く状況を見極め、実現可能な目標数値を設定したいと考えております。